

(案)

長久手市障がい施策に関する相談員へのアンケート(Web 回答)

問1 あなたのことを教えてください。

相談員の資格	☐ 主任相談支援専門員 ☐ 相談支援専門員 ☐ 相談支援員
相談員の配置状況	☐ 専任 ・ ☐ 兼務
障がい福祉事業の経験年数	年
相談員の経験年数	年
計画相談支援の作成件数(直近の1年間)※1	件(モニタリングは除く)
所持資格	☐ 社会福祉士 ☐ 介護福祉士 ☐ 精神保健福祉士 ☐ 介護支援専門員 ☐ 保育士 ☐ 保健師 ☐ 看護師 ☐ その他()

※1 相談支援員の場合は、計画はできないが主担当として計画作成前までの面談等行っている件数

問2 あなたが、適切だと思うサービス等利用計画の1年間あたりの作成件数を教えてください。

(※モニタリングは含みません。)

問3 障がい福祉分野以外の課題を同時に抱えるケースについて、他にどのような課題を抱えてますか。多いものを3つ選択してください。

☐ ①経済的な困りごと(生活困窮、債務、失業、就労不能等)
☐ ②家庭内の養育・介護・DV 等家族問題
☐ ③医療や服薬、通院に関する課題
☐ ④住まいや住居確保に関する課題
☐ ⑤孤立・引きこもり・社会的孤立
☐ ⑥高齢の親と障がいのある子(8050 問題等)
☐ ⑦子ども(ヤングケアラーを含む)への支援を要するケース
☐ ⑧その他
☐ ⑨そのようなケースがない・わからない

(案)

提案 他分野との連携で課題に感じる点を教えてください。

☐ ①連携先の窓口や担当者がわかりにくい
☐ ②個人情報の制約で連携が進まない
☐ ③支援の優先順位が異なり調整が難しい
☐ ④情報共有が難しい
☐ ⑤家族の同意が得にくい
☐ ⑥支援の範囲・それぞれの責任があいまい
☐ ⑦わからない

問4 連携状況について、それぞれ以下の選択肢から選び記入してください

①連携が十分であると感じるもの

②連携が不十分だと感じるもの

③今後連携していきたいと感じるもの

1. 基幹相談支援センター	2. 他の相談支援事業所
3. 福祉サービスを提供する事業所	4. 市役所(障がい者・児 担当課)
5. 市役所(障がい者・児 担当課以外)	6. 社会福祉協議会
7. 医療機関	8. 保健所
9. 学校(スクールソーシャルワーカー等含む)	10. 保育園・幼稚園等
11. 尾張東部権利擁護支援センター	12. 民生委員・児童委員
13. 地域関係者(自治会等)	14. ハローワーク・アクト
15. 警察・消防	16. 介護保険事業所
17. 居住支援法人・不動産関係	18. 障がい関係団体
19. 地域包括支援センター	20. 生活困窮者相談窓口
21. その他	

問5 個別の相談支援ケースについて、組織内でどのように共有していますか。(☑は1つだけ)

☐ ①全てのケースの共有	☐ ②必要に応じ、ケース共有
☐ ③あまり共有していない	☐ ④共有していない
☐ ⑤その他()	

問6 業務を進めるうえで、負担感はどのようなことがありますか。(☑は3つまで)

☐ ①担当する件数が多い	☐ ②支援の範囲が不明確である
☐ ③制度・サービスの理解に不安がある	☐ ④困難ケースの対応に時間を要する
☐ ⑤記録する時間が確保できない	☐ ⑥相談員が相談ができる場がない
☐ ⑦対人援助のスキルに不安がある	☐ ⑧その他

(案)

問7 支援における困りごとについて教えてください。(☑は3つまで)

☐ ①課題を抽出し、目標を立てることが難しい	☐ ②利用者との意思疎通が難しい
☐ ③利用者と家族の意見が相違する場合の調整	☐ ④キーパーソンがいない
☐ ⑤家族にも支援が必要な人がいる	☐ ⑥地域に必要な資源がない
☐ ⑦本人や家族の障がいの理解が不十分	☐ ⑧経済的な理由でサービスが利用しづらい
☐ ⑨契約行為や金銭管理の対応が難しい	☐ ⑩制度の狭間にあり、支援につながらない
☐ ⑪サービス提供事業所が見つけにくい	☐ ⑫他機関との連携が難しい
☐ ⑬その他	

問8 相談の利用者の中に、「虐待及びその疑いがある人(セルフネグレクトを含む)」を見かけたことはありますか。(☑は1つだけ)

☐ ある	☐ ない
-----------------------------	-----------------------------

※問8で、「ある」と回答した場合にお答えください。

問9 その際、どのような対応をしたか教えてください。(☑はいくつでも)

☐ ①事業所内で対応した	☐ ②他事業所・機関も交えて対応した
☐ ③市役所の担当課に連絡した	☐ ④警察に相談・連絡した
☐ ⑤弁護士等に相談した	☐ ⑥尾張東部権利擁護支援センターに相談した
☐ ⑦利用者本人や家族に聞き取りをおこなった	☐ ⑧対応方法が分からなかった
☐ ⑨虐待か迷い、通報しなかった	☐ ⑩特に対応をしなかった
☐ ⑪その他()	

問10 利用者や家族から以下のような差別解消や権利擁護に関する相談を受けたことがありますか？(☑はいくつでも)

☐ ① 障がいへの不理解、偏見について	☐ ②障がいがあることで差別された
☐ ③ 近隣等地域とのトラブル	☐ ④金銭管理について
☐ ⑤ 成年後見制度の利用について	☐ ⑥消費者被害について
☐ ⑦ 相談を受けたことがない	☐ ⑧その他()

(案)

問 11 日常生活自立支援事業及び成年後見制度を案内をしていくうえで、どのような課題がありますか (☑はいくつでも)

☐ ①本人や家族・親族の理解が得られにくい
☐ ②利用するにあたり経済的な課題がある
☐ ③制度に関する知識・情報がなく、適切な案内ができない
☐ ④その他 ()

問 12 サービス等利用計画、障害児支援利用計画を作成するうえで以下の実施状況について教えてください。

	1：十分にできている 2：ほとんどできている 3：あまりできていない 4：ほとんどできていない
①本人に寄り添い、耳を傾けてのインテーク	☐ 1 ☐ 2 ☐ 3 ☐ 4
②出来る限り生活の場に出向き訪問すること	☐ 1 ☐ 2 ☐ 3 ☐ 4
③本人をよく知る関係機関等からの情報収集	☐ 1 ☐ 2 ☐ 3 ☐ 4
④個別支援会議の開催・支援方針の共有	☐ 1 ☐ 2 ☐ 3 ☐ 4
⑤各サービス事業所との支援計画と整合確認	☐ 1 ☐ 2 ☐ 3 ☐ 4
⑥個別支援会議での本人の合意や意向確認	☐ 1 ☐ 2 ☐ 3 ☐ 4
⑦計画の実施状況の把握(モニタリング)	☐ 1 ☐ 2 ☐ 3 ☐ 4
⑧モニタリング後の計画の修正	☐ 1 ☐ 2 ☐ 3 ☐ 4
⑨個別の支援から明らかになった地域課題の報告	☐ 1 ☐ 2 ☐ 3 ☐ 4
⑩地域の社会資源を把握(インフォーマル含む)	☐ 1 ☐ 2 ☐ 3 ☐ 4
⑪資源の改善・開発に向けた行動・提案	☐ 1 ☐ 2 ☐ 3 ☐ 4

(案)

問 13 計画を立案する際の利用者の意思決定の対応状況について教えてください。

	1：十分にできている 2：ほとんど実施している 3：あまり実施できていない 4：ほとんど実施できていない
①本人から直接話しを聞いたり、日常生活の様子から意思や好みの確認	☐ 1 ☐ 2 ☐ 3 ☐ 4
②意思決定支援会議への本人の参加	☐ 1 ☐ 2 ☐ 3 ☐ 4
③意思決定支援会議への家族、関係者、成年後見人等の参加	☐ 1 ☐ 2 ☐ 3 ☐ 4
④体験中の様子から本人の意思の推定が可能な場合には、その内容の支援計画への反映	☐ 1 ☐ 2 ☐ 3 ☐ 4
⑤モニタリング・評価結果を踏まえた、意思決定のさらなる促進のための見直し	☐ 1 ☐ 2 ☐ 3 ☐ 4
⑥決定したことを本人がわかりやすいように伝えること	☐ 1 ☐ 2 ☐ 3 ☐ 4
⑦意思決定支援の研修への参加	☐ 1 ☐ 2 ☐ 3 ☐ 4

提案 指定特定相談支援事業所、委託相談事業所、基幹相談支援センターのそれぞれの役割について理解していますか。

☐ ① おおむね理解している	☐ ②あまり理解していない
---------------------------------------	--------------------------------------

提案 基幹相談支援センターの支援で役立ったものは何ですか。また、今後、期待する支援はありますか。(☑はそれぞれ3つまで)

☐ ① 困難ケースの助言（スーパービジョン）
☐ ② 事例検討会・ケース会議への同席
☐ ③ 権利擁護・虐待疑い時の初動相談・同行
☐ ④ 医療機関連携（退院支援・通院体制等）の調整
☐ ⑤ 地域資源の紹介・コーディネート（居住・就労・日中活動等）
☐ ⑥ 多機関連携（高齢・子ども・困窮・警察・学校等）の調整
☐ ⑦ 事業所運営（人材定着、加算の取得等）への助言
☐ ⑧ 研修・学習機会の提供
☐ ⑨ その他（ ）

14 本市の相談支援体制の質の向上や地域課題の解決を図るために、どのような取組や資源が必要と考えますか。